

FUKUOKA FINANCIAL GROUP

ごあいさつ



ふくおかフィナンシャルグループ
取締役社長
五島 久

平素は格別のお引立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

FFGの営業基盤である九州の景気は、半導体関連の設備投資やインバウンドの回復、堅調な個人消費などにより、緩やかに回復しています。また、好調な企業業績を背景に、デジタル化や脱炭素化に向けた投資も活発化する見通しです。

そのようななか、FFGは、個人バンキングアプリや事業者向けポータル「BIZSHIP」などデジタルチャネルのご提供を通じて、お客さまの利便性・生産性の向上に取り組んでいます。併せて、営業担当者が、お客さまの課題解決や事業目標の実現に伴走する「ゴールベース型営業」にも注力しています。

2024年度上期決算は、このデジタル活用を起点としたソリューション提供力の強化に向けた取り組みが、貸出金残高や投資信託残高の増加につながり、連結当期純利益は前年比+89億円の392億円となりました。2024年度の通期計画については、上期の進捗を踏まえて、連結当期純利益を720億円(期初計画比+35億円・前年比+108億円)に上方修正し、配当金についても、一株あたり135円(期初計画比+5円・前年比+20円)への増配を予定しています。

FFGが目指すのは、経済的なゆたかさはもちろん、心までゆたかに感じられて未来まで続く、そして地域に良い循環をもたらすような、そんな“真のゆたかさ”です。

これからも、お客さまや地域の課題解決に取り組み、「真にゆたかな地域社会」の実現に貢献してまいります。今後とも、より一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

TOPICS

FFGチーフ・ストラテジスト
佐々木 融の
マーケットLIVE! 開始

FFG
YouTubeチャンネルへ



みんなの銀行口座
100万口座突破



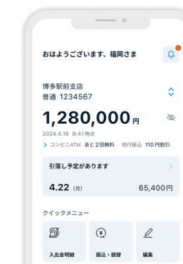
Minna no Ginko

(2024年5月末時点)

FFG3行の銀行アプリが、 100万ダウンロードを突破

グループ3行が展開する「福岡銀行アプリ」「熊本銀行アプリ」「十八親和銀行アプリ」が、累計100万ダウンロード(口座登録ユーザー)を突破しました。お金やデジタルにまつわる“分からない”や“不安”に寄り添うアプリとして、幅広い年齢層のお客さまにご利用いただいています。

さらに、2025年1月にセブン銀行ATMで、同年3月および4月に福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行の自行ATMで、現金の入出金ができる「スマホATM」サービスの取扱いを開始する予定です。今後もお客さまの声をもとに、アプリの機能追加や改善を行ってまいります。



スタートアップイベント 「StartupGo!Go!」を共同開催

2024年10月9日・10日の2日間、全国・アジアから3,000人以上が集まる九州最大級のスタートアップイベント「StartupGo!Go!」を福岡市で開催。当日は、新進気鋭のスタートアップのピッチや、第一線で活躍する経営者の講演・ディスカッションといった多数のコンテンツに加えて、「FFGステージ」では、デジタル化や人手不足解消など、地域企業にとって関心の高いテーマでセッションを行いました。

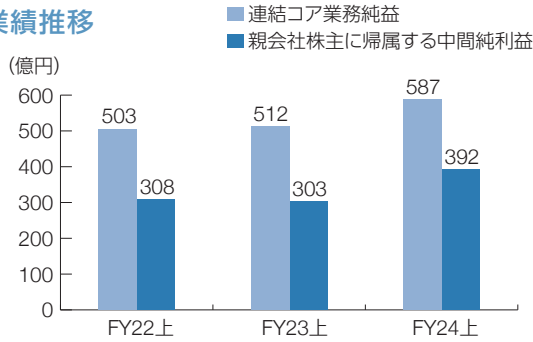
福岡市は、全国でもスタートアップ企業が多い地域の一つです。FFGでは、今後もスタートアップの成長支援と地場企業イノベーション創出支援による地域の産業活性化を目指してまいります。

FFG中間期ディスクロージャー誌2024
あなたのいちばんに。編

業績ハイライト (2024年度中間期)

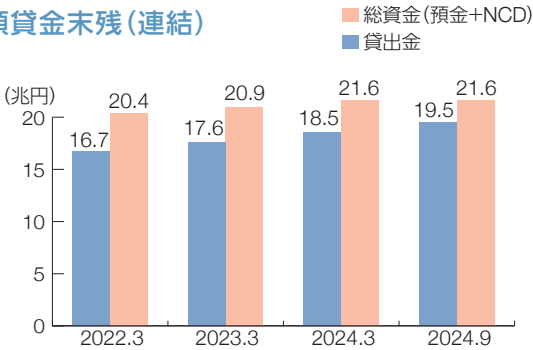
連結コア業務純益は、貸出金残高の増加や貸出金利回りの改善により資金利益が増加するとともに、投資信託販売による資産運用関連収益が増加したことなどから、前年比+75億円の587億円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、信用コストが低位で推移したことなどにより、前年比+89億円の392億円となりました。

業績推移



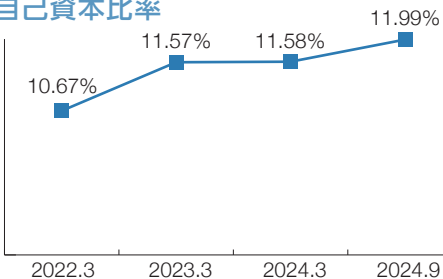
※FY23上以前の計数には、福岡中央銀行を含んでおりません。

預貸金末残(連結)



※2023.3以前の数値には、福岡中央銀行を含んでおりません。

連結自己資本比率



※2023.3以前の数値には、福岡中央銀行を含んでおりません。

プロフィール

2024年9月末日現在

FFG ぶくおかフィナンシャルグループ

設立日 平成19年4月2日
本社所在地 福岡市中央区大手門一丁目8番3号
資本金 1,247億円
従業員数 8,254人

連結子会社

27社

格付情報

AA- R&I 発行体格付
A+ JCR 長期発行体格付

福岡銀行

設立日 昭和20年3月31日
本店所在地 福岡市中央区天神二丁目13番1号
資本金 823億円
従業員数 3,658人
店舗数 170(福岡県内152)

熊本銀行

設立日 昭和4年1月19日
本店所在地 熊本市中央区水前寺六丁目29番20号
資本金 100億円
従業員数 831人
店舗数 70(熊本県内63)

十八親和銀行

設立日 昭和14年9月1日
本店所在地 長崎市銅座町1番11号
資本金 368億円
従業員数 1,952人
店舗数 188(長崎県内164)

福岡中央銀行

設立日 昭和26年6月5日
本店所在地 福岡市中央区大名二丁目12番1号
資本金 40億円
従業員数 436人
店舗数 41(福岡県内41)

*1 R&I 発行体格付 *2 JCR 長期発行体格付 *3 Moody's 長期預金格付

●海外拠点数(福岡銀行海外駐在員事務所):8
(香港、上海、大連、ニューヨーク、シンガポール、バンコク、台北、ホーチミン)

「FFG統合報告書2024」を発刊しました

当社グループの中長期的なビジョンをご理解いただくためのツールとして「FFG統合報告書2024」を発刊しました。FFGが目指す「真にゆたかな地域社会」の実現に向けた取り組みを一連の価値創造ストーリーとして発信しています。当社グループへのご理解を深めていただけますと幸いです。



FFG統合報告書2024 検索

●当社グループホームページ掲載場所はこちら
ホーム>株主・投資家情報>統合報告書



株主還元の実

当社グループの株主還元は、利益成長による安定的な配当(維持・増配)を基本としており、2007年の設立以来、配当の維持・増配を実現してきました。2022年度にスタートした第7次中期経営計画では、健全性の維持を前提に、成長投資と株主還元のバランスを考慮して、配当性向35%程度を目安とする業績連動型の配当テーブルを設定し、安定的な利益還元を目指しています。また、自己株式の取得については、今後も業績動向や資本の状況、成長投資の機会、市場環境などを考慮して、機動的な実施を検討いたします。

連結当期純利益水準	1株あたり配当目安
700億円以上	年間135円～
675億円以上～700億円未満	年間130円～
650億円以上～675億円未満	年間125円～
625億円以上～650億円未満	年間120円～
600億円以上～625億円未満	年間115円～
575億円以上～600億円未満	年間110円～
550億円以上～575億円未満	年間105円～
525億円以上～550億円未満	年間100円～
500億円以上～525億円未満	年間95円～
～500億円未満	配当性向35%程度

※連結当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を指します。

商号等	加入協会
株式会社福岡銀行(登録金融機関) 福岡財務支局長(登金)第7号	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社熊本銀行(登録金融機関) 九州財務支局長(登金)第6号	日本証券業協会
株式会社十八親和銀行(登録金融機関) 福岡財務支局長(登金)第3号	日本証券業協会
株式会社福岡中央銀行(登録金融機関) 福岡財務支局長(登金)第14号	日本証券業協会
FFG証券株式会社(金融商品取引業者) 福岡財務支局長(金商)第5号	日本証券業協会 第二種金融商品取引業協会

●発行-2024年12月 ●編集-株式会社ぶくおかフィナンシャルグループ 経営企画部
〒810-8693 福岡市中央区大手門1-8-3 TEL(092)723-2500(代表)